

松山大学教務課主催 ITパスポート試験対策講座 ガイダンス

ITパスポートの「IT」とは

- ITとはInformation Technology（情報技術）の略です。
 - ✓ 企業の運営に欠かせない「経営資源」という言葉があります。以前は、経営資源と言えは「人」「物」「金」でしたが、現在は「情報」が加わり経営の四大資源と言われております。
 - ✓ 「情報」の大切さを例えるなら

アメリカの食品企業が、日本ではクリスマスに「ターキー」より「フライドチキン」の方がよく売れるという事を知らずにターキーを販売→チキンを売り逃し（機会損失）ターキーの売れ残りが大量に発生（売れ残り損失）

北海道鶴居村が釧路湿原国立公園内の村有地に、国の「生態系被害防止外来種」に選定されているニセアカシア600本を植樹→環境省は村に原状回復を要請→撤去（植樹の費用と撤去の費用のダブルパンチ）

ITパスポートとは

(独立行政法人・情報処理推進機構「ITパスポート試験」HPより引用)

- ITを利用・活用するすべての社会人・学生が備えておくべき

ITに関する基礎的な知識が証明できる国家試験です。

- ✓ ITは私たちの社会の隅々まで深く浸透し、どのようなビジネスにおいてもITなくして成立しません。
- ✓ **どのような業種・職種でも**、ITと経営全般に関する総合的知識が不可欠です。
事務系・技術系、文系・理系を問わず、ITの基礎知識を持ち合わせていなければ、企業の戦力にはなりません。
グローバル化、ITの高度化はますます加速し、「英語力」と共に、「IT力」を持った人材を企業は求めています。

そこでITパスポートです

- ITパスポートは、経営戦略、マーケティング、財務、法務など**経営全般**に関する知識をはじめ、セキュリティ、ネットワークなどの**ITの知識**、**プロジェクトマネジメントの知識**など幅広い分野の総合的知識を問う試験です。
- ITを正しく理解し、業務に効果的にITを利用・活用することのできる“IT力”が身につきます。
ITパスポートは、2009年の開始以来、累計応募者数が50万人以上となり、社会人から学生まで幅広い層から支持されています。

ITパスポートは社会で活躍するための「パスポート」です。

- 「ITパスポート」という名前には強い思いが込められています。
日本から世界に羽ばたく際に身分を証明するために「パスポート」が必要であるように、IT化が進んだ現代社会に羽ばたくために社会人として必要な基礎的能力を有していることを国が証明する試験（パスポート）として「ITパスポート」が誕生しました。
これから社会人となる学生や、いま社会で働く社会人に、ぜひ挑戦してもらいたい試験です。

ITパスポート試験 試験結果

■社会人/学生〔累計(平成27年4月～平成27年11月)〕

	応募者		受験者	合格者	
	人数	構成比	人数	人数	合格率
社会人	28,602	60.5%	25,321	14,609	57.7%
学生	18,685	39.5%	17,362	6,251	36.0%
合計	47,287		42,683	20,860	48.9%

ITの知識があると、このようなときに役立ちます

IT導入補助金

平成28年度補正 サービス等生産性向上IT導入支援事業

TOP・事業について

補助事業者（中小企業・小規模事業者等）の皆様

番号	事業者名	地域	業種・サービス
7	ツバイン株式会社	全国	飲食・サービス; 宿泊; 小売; 運輸; 医療; 介護; 保育; その他
8	株式会社ハイコンセプト	岡山・広島・香川・愛媛	飲食・サービス; 宿泊; 小売
9	株式会社マフィースシステムズ	全国	その他
10	株式会社ユニテッドワークス	全国	飲食・サービス; 宿泊; 小売; 運輸; 医療; 介護; 保育

種類	説明
SFA	コンピュータなどを利用して営業活動を支援するための考え方、またはそれを実現するためのシステム。顧客との商談（コンタクト）履歴を管理したり、顧客の情報や営業テクニックなどのノウハウを共有したりして、営業活動の効率化、標準化を図る。「Sales Force Automation」の略。日本語では「営業支援システム」の意味。
CRM	SFAの考え方を発展させて、営業活動だけではなく全社的な規模で顧客との関係を強化するための考え方、またはそれを実現するためのシステム。「Customer Relationship Management」の略。日本語では「顧客関係管理」の意味。
SCM	取引先との間の受発注、発注（原材料や部品）の調達から在庫管理、製品の配送まで（サプライチェーン）をコンピュータやインターネットを利用して統合的に管理すること。「サプライチェーンマネジメント」の略。日本語では「供給連鎖管理」の意味。

テキストでは、このように解説しています

セールスフォース、salesforce、マーケティングオートメーション、CRM、SFA、MA、マーケティング、Pardot

最初のページ 前のページ 1/25 次のページ 最後のページ

資格取得のメリット：就職で役立つ国家試験

もはや、ITなくしてビジネスは成立しないため、企業もITに関する基礎知識を備えた人材を求めており、企業や省庁等の採用でITパスポートが活用されています。

- 就職活動において、自らの知識を証明し、自己アピールに役立ちます
 - ✓ ITパスポートは、社会人としての基礎知識とIT力を兼ね備えていることを証明する国家試験です。面接・履歴書等で自らの知識を証明し、アピールすることができます。
- 企業や省庁などの採用で、ITパスポートが活用されはじめています
 - ✓ 新卒採用時のエントリーシートで、**ITパスポートの合格**やスコアを確認する企業が増えています。国家公務員の採用では、情報セキュリティに関する素養を確認するために、採用面接時にITパスポート等の合格を確認する省庁があります。

新卒採用活動（エントリーシート）に活用している企業の一例



ITパスポートは国家試験であり、たくさんの大企業が注目している資格なので、就職活動にも有利なアピールポイントになります。

具体例：ITパスポート試験 活用事例
https://www3.jitec.ipa.go.jp/JitesCbt/html/about/example_print.html

ITパスポートはCBT方式により実施しています。

- CBT（Computer Based Testing）方式とは、コンピュータを利用して実施する試験のことで、受験者は試験会場に行き、コンピュータに表示された試験問題にマウスやキーボードを用いて解答するものです。ITパスポートは国家試験として初めてCBT方式を導入しました。

CBTのため試験日は随時開催です



試験内容

項目	内容
試験時間	120分
出題数	小問：100問 ⁽¹⁾
出題形式	選択式
出題分野	ストラテジ系（経営全般）：35問程度 マネジメント系（IT管理）：20問程度 テクノロジ系（IT技術）：45問程度
合格基準	総合評価点 600点以上／1,000点（総合評価の満点） 分野別評価点 ストラテジ系 300点以上／1,000点（分野別評価の満点） マネジメント系 300点以上／1,000点（分野別評価の満点） テクノロジ系 300点以上／1,000点（分野別評価の満点）
試験方式	CBT（Computer Based Testing）方式 ⁽²⁾ 受験者はコンピュータに表示された試験問題に対して、マウスやキーボードを用いて解答します。
採点方式	IRT（Item Response Theory：項目応答理論）に基づいて解答結果から評価点を算出

⁽¹⁾ 総合評価は92問、分野別評価はストラテジ系32問、マネジメント系18問、テクノロジ系42問で行います。

残りの8問は今後出題する問題の評価のために使われます。

⁽²⁾ 身体の不自由等によりCBT方式で受験できない方のために、春期（4月）と秋期（10月）の年2回、筆記による方式の試験を実施します。詳しくは [こちら](#) をご覧ください。

うれしいがいっぱい！松大ITパスポート講座

大学の教室で授業が受けられるので、
時間とお金の無駄がない！

（標準学習時間140時間→講座授業時間78時間+自習）

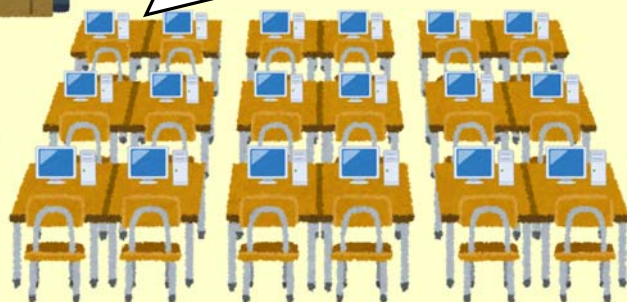
市販の教材等では取り上げない出題配分についても補足するため、効率よく合格を目指す！



eラーニング採用講座なので、
過去問をスマホで解いて練習しよう！模擬試験では本番と同様「CBT形式」で出題されるので安心！



万が一欠席しても、DVDで補講が受けられる！



当ITパスポート講座の特徴

- ▶ 情報セキュリティや企業コンプライアンス（法令遵守）など、実務・就職に重要な知識が身につく
- ▶ 全編プロジェクターによるPDF投影
- ▶ 五段階評価による出題傾向の解説
- ▶ ネットによる実例検索
- ▶ 動画投稿サイトの活用
- ▶ 即時、正解と解説が確認できる練習問題